

# 023 物産展 un free

# DIY展

SHIBUYA WANDERING CRAFT 2023  
Do It Yourself 自分の暮らしを  
自分でつくる物産展  
2023.8.19 sat - 8.27 sun  
Shibuya Hikarie 8F Entrance free

# DIY展

## 2023年の渋谷ワンダリングクラフトのテーマは「DIY」

SHIBUYA WANDERING CRAFT は、Wonderful(驚き)をもって、Wandering(歩き回る)する物産展です。渋谷らしい新しい発見や出会いの場として、2014年から「食の生産者」「農業」「エコ」「オーダーメイド」「旅」「本」などをテーマに、新たな試みにチャレンジする作り手と共に企画してきました。2023年は「DIY(Do It Yourself)」=「自分でつくる」をテーマに、マーケット、ワークショップ、トークショーなどを開催します。近年、衣食住の様々なことにおいて「自分でつくる」という需要が高まっています。本格的な加工ができるシェア工房も増え、インテリアの日曜大工に限らず、味噌づくりや果実酒などの食品仕込みや、洋裁など家庭の手仕事から、出版や番組配信などのメディアまで、自らの手でつくる動きが広がっています。このように、既成概念にとらわれない、自ら生み出すカルチャーを「DIY」として広く捉え、様々な切り口でのイベントを通して、自分の暮らしを自分でつくる楽しさや、その文化と一緒に楽しめる仲間と出会う物産展です。

### EVENT & TALK SCHEDULE

8/19(土) 12:00~17:00

#### 土と野菜を解体してみよう

渋谷キャットストリートで都市の畑を運営している CATs Street Farmingを中心に、土・野菜・花を解体してみる6つのワークショップを開催します。落ち葉が分解されてできる土をさわり比べ、そこで育つ野菜のなりたちや味を確認し、花からとれる色やカタチでモノをつくる。小さなお子さまでもご参加いただける内容です。

参加費:500円(会場内の4つのプログラムにご参加いただけます)

主催: Creative Lounge MOV



01/COURT

8/20(日) 11:00~18:00 (ワークショップは17:00まで)

#### 「マユピト」づくりのワークショップと 越後妻有・大地の芸術祭マーケット

蚕から育てた本物の繭玉を使って、オリジナル「マユピト」をつくるワークショップを開催。マユピトは大地の芸術祭がきっかけとなり誕生しました。有数の豪雪地帯である越後妻有では、農業に代わる冬仕事として養蚕が盛んに行われました。一度は途絶えた養蚕の記憶を語り継ぐグッズとして、蓬平集落のお母さんたちの手によって、ひとつひとつ丁寧に制作されています。地域の伝統に触れながら、子どもから大人まで楽しめる1日だけのイベントです。

参加費: ワークショップ 500円

主催: アートフロントギャラリー、NPO法人越後妻有里山協働機構



01/COURT

8/22(火)~8/25(金) 11:00~17:00

#### カラフルフェスティバル

「カラフル」をコンセプトに、様々な団体が色々なDIYワークショップを企画・提供いたします。手回し発電機を使って走る車や渋谷の街をカラーブロックで組み立てたり、革や布のはぎれを使っておしゃれな雑貨をつくります。自分で作るオリジナル作品や、みんなでつくるコラボ作品をつくることができるたくさんの体験をご用意しました。夏休みの自由研究にもぜひご活用下さい！

主催: カラフルフェスティバル実行委員会



01/COURT

8/26(土) ①13:00~14:30 ②16:00~17:30

#### アートをDIY! 粘土でつくる“空っぽ”のいきもの

美術作家・高嶋英男によるワークショップを開催！ペットボトルや空の容器など、日常にあるものと粘土を組み合わせ、動物や人型のオリジナル作品をつくります。作家代表作のコンセプトである「空っぽ」をアートの視点で感じ取りながら、普段破棄してしまうものに命を吹き込む体験ができます。

参加費: 500円 定員: 各 15名 ※要事前申込

主催: Bunkamura Gallery 8/



01/COURT

8/27(日) トーク11:30~13:00/ワークショップ14:00~18:00

#### d SCHOOL わかりやすい DIY -KAKデザイングループから学ぶ、日本のDIYのはじまり-

1953年に設立された、工業デザイナー秋岡芳夫、河潤之介、金子至によるデザイン事務所「KAKデザイングループ」。彼らによる「日曜大工」の概念が家庭工作の普及など日本のDIYの源流をつくりました。彼らの「自らの手でつくり、使い続け、暮らしをデザインする」という活動と、d47 MUSEUMでの「SAMPLING PRODUCT」展で表現する「見立て」の面白さを照らし合わせながら、自由でユニークな暮らしについて考えます。当日は、関連イベントとして杉材を使った家具づくりのワークショップも開催します。

参加費: トーク 1,500円 / ワークショップ 11,000円 ※いずれも要事前申込  
定員: トーク 40名 / ワークショップ 10名 主催: D&DEPARTMENT PROJECT



01/COURT

8/19(土)~8/27(日) 11:00~20:00

#### HAZAI PICKING - vol.1 イチゴ狩り的な-

02/CUBE 1,2,3



見て触って、お気に入りのハザイを収集する、イチゴ狩りのような体験型展示。これは、私達が工場でハザイ収集をする行為の追体験になっています。また、本展ではもぎたてのハザイで制作ができる作業場も設けています。見方を変えると世界は面白いものに溢れている、その視点変換のきっかけになればと思います。

主催: Palab (パラボ)

8/7(月)~10/1(日) 12:00~18:00 ※不定休

#### 合同選書企画「DIY」

03/SHIBUYA maru-maru BOOKS



みんなで本を持ち寄り、みんなで運営する本屋さん「渋谷○○書店」では、100名を超える棚主による<DIY>をテーマにした偏愛の選書を実施中。ここでしか出会えない、自由な発想で制作された ZINE や個人出版本など、特別な本に出会えるチャンスを。

主催: 渋谷○○書店

※営業日は、@shibuya\_books (Twitter) をご確認ください。

7/14(金)~10/15(日) 12:00~20:00 (最終入場 19:30)

#### SAMPLING PRODUCT - 47 都道府県の見立てのプロダクト展 -

04/d47 MUSEUM



運搬用コンテナや、引っ越しの際などに使う養生用キルトカバー、漁業資材や医療用品など、47都道府県のさまざまな現場で使われている道具や素材を家の中に持ち込み、テーブルのような、棚のような、間仕切りのような、「見立てのプロダクト」として紹介。業務用品としてつくられた道具や素材を、暮らしの道具に「見立てる」ことで、改めて日本のものづくりに注目するとともに、自由でユニークな暮らしを発想する、気づきの展覧会です。

主催: D&DEPARTMENT PROJECT

8/19(土)~8/27(日) 水曜定休

#### 郷土料理「りゅうきゅう」を 自分の手で好みに仕立てる

05/d47 SHOKUDO



大分県の郷土料理「りゅうきゅう」は、魚を捌いた時に余った切れ端や残ってしまった刺身を漬けにして、胡麻やねぎなど薬味といいただく漁師たちのまかない飯。その由来は琉球の漁師から伝わったなど説があります。りゅうきゅうは自分で手を加えながら味の変化を楽しめる郷土料理の一つ。大分の「かぼす」をこはんやりゅうきゅうにかけて、最後はお汁をかけてさっぱりと召し上がり。

「りゅうきゅう ワンダリングセット」1,680円

提供時間: 11:30~15:00/17:00~19:00(金・土・祝前日は20時まで)

※売り切れ次第終了

主催: D&DEPARTMENT PROJECT

8/19(土)~8/27(日) 11:00~20:00

#### 生活の解体展

07/Creative Lounge MOV



知っているようで知らない日用品を実際に解体してみると、なりたちを理解し、もっと好きになり、ずっと大事に使い続けてもらえる。そんな体験のヒントになるのが生活の解体展です。服は服の、自転車は自転車のプロたちがレクチャーする解体ワークショップをはじめ、実際に解体した日用品も展示されます。

主催: Creative Lounge MOV



SHIBUYA WANDERING CRAFT 2023

[www.hikarie8.com](http://www.hikarie8.com)

詳しくは8/WEBサイトより各イベントページをご覧ください。